

安全医学

特集号

第7回日本予防医学リスクマネジメント学会学術総会

*The 7th Annual Meeting of Japan Society of Risk Management and Preventive Medicine
(JSRMPM)*

プログラム

会期：2009年3月19日（木）・20日（金）

会場：京都大学医学部百周年記念施設 芝蘭会館

会長：野田 洋一（滋賀医科大学名誉教授
医療法人社団御上会野洲病院顧問）



日本予防医学リスクマネジメント学会

挨拶

厚生労働省 舛添要一大臣

特別発言

日本医師会 唐澤 祥人会長

安全医学選考委員長

今中 雄一（京都大学医学部教授）

2008年度末理事・幹事会

2009年3月18日午後6時～8時、

京都大学医学部百周年記念施設 芝蘭会館

開催責任者 酒井亮二 学会理事長

日本予防医学リスクマネジメント学会第7回学術総会 役員名簿

会長 野田 洋一
滋賀県産婦人科医会会長、滋賀医科大学名誉教授、医療法人社団御上会野洲病院顧問
副会長 神野 佳樹 医療法人青葉会神野レディースクリニック 院長
野村 哲哉 医療法人真心会南草津野村病院 理事長
畑山 博 医療法人財団足立病院 院長

【プログラム委員会】

委員長 野田 洋一
滋賀県産婦人科医会会長、滋賀医科大学名誉教授、医療法人社団御上会野洲病院顧問
副委員長 今井 秀一 医療法人社団御上会野洲病院 麻酔科部長、医療安全管理室室長
委員 江原 一雅 神戸大学医学部附属病院 医療安全管理室副室長、統括リスクマネージャー
藤田 眞幸 慶応義塾大学医学部 法医学教室教授
宮本 正喜 兵庫医科大学 医療情報学教授
中畑 龍俊 京都大学大学院医学研究科 発生発達医学講座発達小児科学分野教授
今中 雄一 京都大学大学院医学研究科 医療経済学分野教授
越田 繁樹 滋賀医科大学小児科 講師、地域医療システム学講座 講師
嶋津 岳士 近畿大学医学部附属病院 救急診療部（ER部）長
岩田 浩子 福井大学医学部看護学科臨床看護学講座 教授
長尾 能雅 京都大学医学部附属病院 医療安全管理室長
森 功 医真会八尾総合病院 理事長
餅田 敬司 滋賀医科大学医学部附属病院 看護部管理室 副看護部長
山出 一郎 医療法人財団足立病院 産婦人科部長
大塚 邦生 市立長浜病院 事務局医療社会相談室医療安全担当 主幹
川崎 悦子 市立長浜病院 事務局医療社会相談室医療安全担当 担当室長
梅本 範子 市立長浜病院 産科病棟看護師長
尾田 憲章 近江八幡市立府総合医療センター 医療安全管理室看護長
谷口 孝二 彦根市立病院 医療安全推進室専任リスクマネージャー
大槻 知子 医療法人社団御上会野洲病院 看護部長
乾 悦子 医療法人社団御上会野洲病院 医療安全管理室専任リスクマネージャー
松永 早苗 医療法人社団御上会野洲病院 感染管理認定看護師

【実行委員会】

委員長 野田 洋一
滋賀県産婦人科医会会長、滋賀医科大学名誉教授、医療法人社団御上会野洲病院顧問
委員 今井 秀一 医療法人社団御上会野洲病院麻酔科部長、医療安全管理室室長
龍 護 医療法人社団御上会野洲病院 事務部長
神野 佳樹 医療法人青葉会神野レディースクリニック 院長
野村 哲哉 医療法人真心会南草津野村病院 理事長
畑山 博 医療法人財団足立病院 院長
餅田 敬司 滋賀医科大学医学部附属病院 看護部管理室 副看護部長
越田 繁樹 滋賀医科大学地域医療システム学講座 講師
山出 一郎 医療法人財団足立病院 産婦人科部長

【事務局】

事務局長 今井 秀一 医療法人社団御上会野洲病院麻酔科部長、医療安全管理室室長
事務局長補佐 山出 一郎 医療法人財団足立病院 産婦人科部長
事務担当 三好 純子 医療法人社団御上会野洲病院
山本 明美 滋賀医科大学 産婦人科学講座

【財務委員会】

委員長 龍 護 医療法人社団御上会野洲病院 事務部長

目次

ごあいさつ	2
開催概要・会場見取り図	3
会場へのアクセス	4
参加について	5
発表について	6
プログラム一覧	7
抄録	
稲盛ホール	
3月19日(木)	15
3月20日(金)	26
山内ホール	
3月19日(木)	42
3月20日(金)	50
一般演題	
一般演題1	54
一般演題2	74
ポスターセッション	80

ごあいさつ

日本予防医学リスクマネジメント学会第7回学術総会 会長 野田 洋一

第7回学術総会の準備期間から開会に至る間、多方面の方々から心温まる、数々のご助力、ご助言を賜り、厚生労働省や日本医師会を始め18団体の後援を受け、無事に開催に至ることができました。

また、全国から、多数の招請講演の演者がお集まりいただき、多数の方々に参加していただくことができました。

今回の第7回学術総会は、「周産期医療のリスクを徹底議論しよう“母児の安寧を強く願うわれら”」を大きなテーマとし、「医療一般におけるリスク回避」の議論とともに開催されます。

昨今の周産期医療の現状を見ておりますと、社会問題になるほどの出来事が次々と報道され、キーワードを列挙すると、妊婦の未検診、たらい回し、産科医の不足、お産難民、産科医療における高い訴訟率などがみられ、明るい話題に乏しい状況です。

若い医師たちは、産科医療の困難さを自覚して、産科医になりたがりません。

しかし、いまや少子社会化は、国家の基盤を揺るがす大問題であり、周産期医療に対する国民的議論と理解が必要な状況となっております。

今回の学術総会では、周産期医療のリスクがどこに存在するのかきちんと提示して理解を求め、全国のリスクマネージャー達にそれぞれの職場へ持ち帰っていただきたいと願っています。それを通じてこそ、日本における周産期医療のリスクマネジメントの水準が一段と高まり、近未来における日本の周産期医療の向上に資することができると思っております。

参加された皆様方には、大いに議論していただきますよう期待をいたしております。

開催概要

会期：2009年3月19日（木）・20日（金）

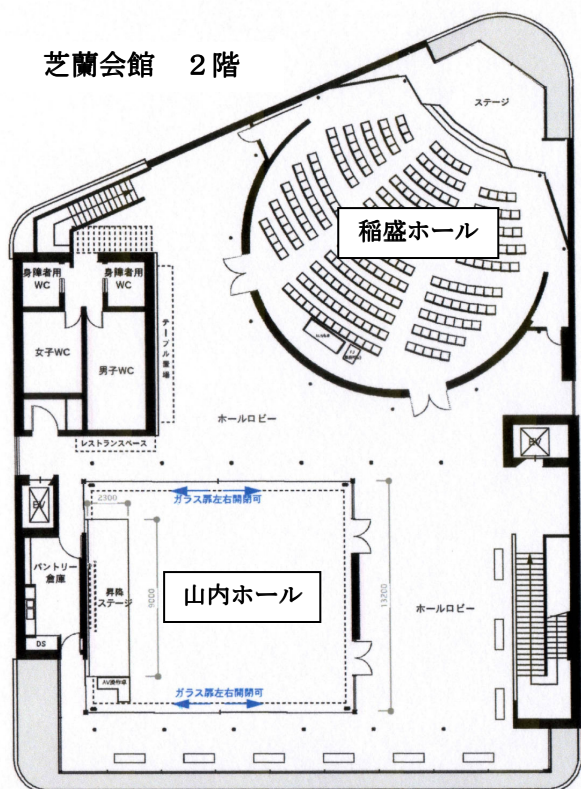
テーマ：周産期医療のリスクを徹底議論しよう
“母児の安寧を強く願うわれら”

会場：京都大学医学部百周年記念施設 芝蘭会館
〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町
京都大学医学部構内
TEL 075-753-9336

会長：野田 洋一（滋賀医科大学名誉教授、医療法人社団御上会野洲病院顧問）

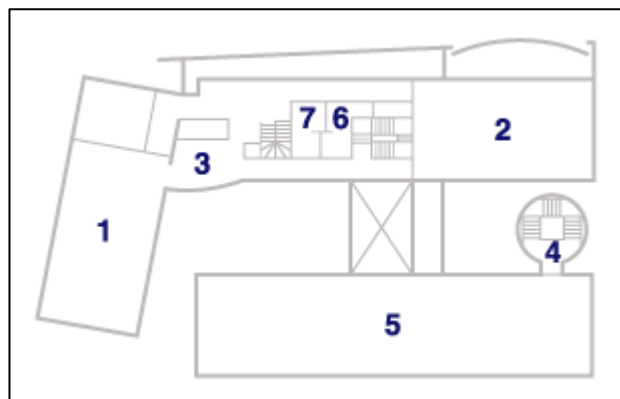
事務局：第7回日本予防医学リスクマネジメント学会学術総会 事務局
〒520-2331 滋賀県野洲市小篠原1094番地
医療法人社団御上会野洲病院内
TEL 077-587-1332 FAX 077-587-5004
E-mail jsrmpm7@yasu-hp.jp
Web site <http://www.yasu-hp.jp/jsrmpm7/index.html>

会場見取図



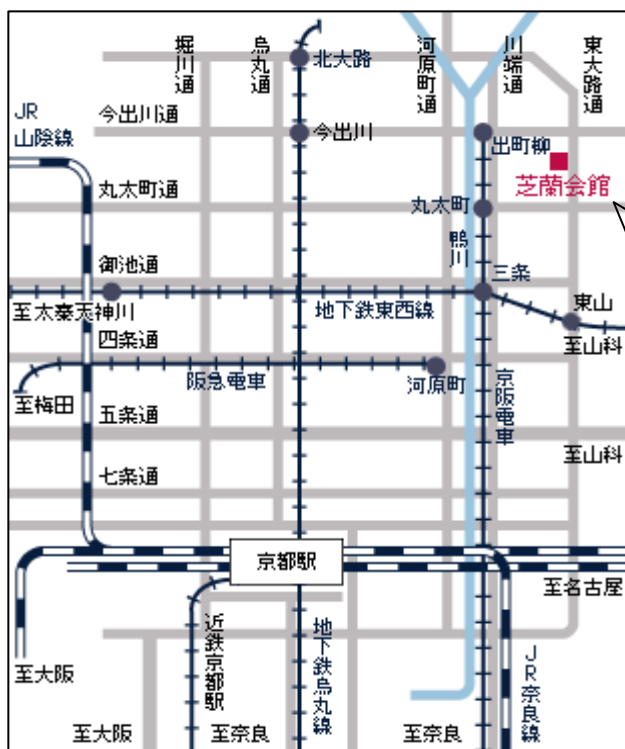
芝蘭会館 別館 2階

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 研修室 1 | 2. 研修室 2 |
| 3. ホワイエ | 4. エレベーター |
| 5. 宿泊室 | 6. 男子便所 |
| 7. 女子便所 | |



会場へのアクセス

京都市内地図



近隣地図



【芝蘭会館アクセス】

■ JR京都駅から

- D2乗り場 市バス206系統「東山通 北大路バスターミナル」行
「京大正門前」で下車 徒歩2分

- 地下鉄「国際会館」行「今出川駅」下車出口3番、
市バス201系統「百万遍・祇園」行乗換え「京大正門前」で下車徒歩2分

■ 阪急河原町駅から

- 出口6番 市バス201系統「祇園・百万遍」行・31系統「熊野・岩倉」行
「京大正門前」で下車徒歩2分

■ 京阪出町柳駅から 徒歩15分

参加について

◆参加受付

- ・ 参加受付は午前8時30分より開始致します。
- ・ 受付場所は京都大学医学部百周年記念施設 芝蘭会館1Fロビーです。
- ・ 参加費は下記のとおりです。
事前申込（平成21年2月28日まで）
会 員：7,000円 / 非会員：8,000円 / 学 生：無 料
当日申込
会員・非会員とも：10,000円 / 学 生：無 料
- ・ 懇親会費は5,000円です。（参加受付の際に受け付けます。）

◆抄録集

- ・ 会員の方には事前に送付しておりますので、当日お渡しすることはできません。
当日は必ずご持参ください。
- ・ 抄録集のみの販売は2,000円です。

◆懇親会

- ・ 3月19日（木）午後6時より、京都大学医学部百周年記念施設 芝蘭会館別館にて行います。是非ご参加下さい。（懇親会費：5,000円）

◆ランチョンセミナー

- 3月19日（木）日本光電工業株式会社 12:20～13:10
 - 3月20日（金）テルモ株式会社 12:30～13:30
- ※両日とも、先着100名とさせていただきますので、ご注意ください。
（参加受付の際に受け付けます。）

◆関連行事等

- リスクマネジメント学会総会
3月19日（木）13:20～13:50 稲森ホール
※会員の皆様はご参加下さい。
- 閉会式
3月20日（金）16:10～ 稲森ホール
- 総懇親会
3月19日（木）18:00～19:30 芝蘭会館別館

発表について

【発表者】

- ・演者は発表の30分前までに演者・座長受付にお立ち寄り下さい。
その後、会場内PCデスクにPC（またはメディア）をお持ち下さい。
- ・次演者は発表の10分前までに「次演者席」にお待ち下さい。

【司会者・座長】

- ・担当セッションの開始20分前までに演者・座長受付にお立ち寄り下さい。
- ・進行・討論の方法は一任しますが、予定時間厳守をお願い致します。

【プレゼンテーション】

1. 会場設備

各会場にそれぞれ以下の設備が設置されます。

- *データプロジェクタ 1台
- *ノートPC 1台 (OS: Windows Vista)
- *インストールソフト: Microsoft PowerPoint 2007, Adobe Reader
Windows Media Player 10
- *データインポート設備: CD-ROM ドライブ, USB 端子 (USB1.1)
- *4系統切替機 + 接続ケーブル (端子規格: mini D-sub15ピン)

2-1. 会場設置PCを利用される場合

- *発表前日～1時間前までにPC受付にお越しください。
- *持参いただくメディア (CD-R・USBフラッシュメモリなど) を当方のPCにコピーいたしますので、動作をご確認ください。
- *事前にメディアのウイルスチェックを実施して下さいますようお願いいたします。
- *動画や音声は正しく出力されない可能性がありますので、事務局との打ち合わせをお願いします。
- *Mac OSでファイルを作られた方は、ご自身のPCで講演をお願いします。

2-2. ご自身のPCを利用される場合

- *講演1時間前までにPC受付で動作確認を行なってください。
- *念のため、メディア (CD-R・USBフラッシュメモリなど) でバックアップファイルをお持ち下さい。
- *スクリーンセーバーやスリープ設定を解除してください。
- *Macを使用される場合は、接続コネクタをご持参ください。

3. 講演データ作成・持参に関する注意事項

- *ファイル名は「発表者.ppt」としてください。

◆プログラム

稲森ホール

会長講演

周産期医療をとりまく諸問題 — over view —

3月19日（木） 9:05～9:20

野田 洋一（学術総会会長）

パネルディスカッション1

周産期医療におけるリスクのありかを探る— 現状分析 と討論を通じた問題点の共有—

3月19日（木） 9:20～11:20

座長：海野 信也（北里大学産婦人科教授）

1) 妊娠・分娩のもたらす母親のリスク

海野 信也（北里大学産婦人科教授）

2) 妊娠・分娩中の胎児にもたらされるリスクの頻度とその早期発見法—現状とその限界—

池田 智明（国立循環器病センター周産期部長）

3) 低出生体重児の保育—保育の限界とリスク—

越田 繁樹（滋賀医科大学地域医療システム学講座講師）

4) 産科勤務医の労働の実態と、困難の所在

桑江 千鶴子（東京都立府中病院産婦人科部長）

5) 討論—— 現状分析に基づいたリスク回避の在り方を討論 ——

特別講演1

産科診療における隠されたリスク

—脳性まひの成因はどこまで判ったのか—脳性まひ児発生の頻度と発生機序に関する最新情報

3月19日（木） 11:30～12:10

座長：神野 佳樹（滋賀県産婦人科医会副会長）

早川 昌弘（名古屋大学周産母子センター講師）

リスクマネジメント学会 総会

3月19日（木） 13:20～13:50

パネルディスカッション2

いよいよ始まった産科医療保障制度を検証する

3月19日（木） 14:00～16:20

座長：木下 勝之（日本産婦人科医会副会長）、野田 洋一（学術総会会長）

1) 本制度の制度設計 ～本制度設計の思想と将来への期待～

後 信（日本医療機能評価機構医療事故防止事業部部長、産科医療補償制度運営部技官）

2) 産科医療保障制度の意義

貫戸 幸彦（日本産婦人科医会京都支部）

3) 患者側弁護士から見た産科医療保障制度の意義

堀 康司（愛知県弁護士会）

4) 第一線の産科医師から見た本制度の脆弱性

米田 嘉次（大阪産婦人科医会代表）

5) 総合討論

特別講演 2

医療事故に遭遇した患者・家族は何を求めているのか—患者側弁護士が遭遇した事例—

3月19日(木) 16:30~17:30

座長：今井 秀一（野洲病院麻酔科部長）

増田 聖子（増田法律事務所弁護士）

パネルディスカッション 3

産科診療の現場におけるリスク回避の工夫

3月20日(金) 9:00~10:30

座長：野村 哲哉（医療法人真心会南草津野村病院 理事長）、大槻 知子（野洲病院 看護部長）

パネラー 医療法人青葉会神野レディースクリニック

医療法人真心会南草津野村病院

医療法人財団足立病院

市立長浜病院

医療法人社団御上会野洲病院

その他一般演題

パネルディスカッション 4

胎児情報の有用性とその限界—理論と実際の狭間で—

3月20日(金) 10:40~12:00

座長：喜多 伸幸（滋賀医科大学産婦人科 講師）

藤森 敬也（福島県立大学産婦人科 講師）、福原 健（京都大学周産母子診療部 講師）

シンポジウム

これからの分娩の在り方を考える—母児の安寧を強く願う立場から—

3月20日(金) 13:30~16:00

座長：木下 勝之（日本産婦人科医会副会長）、野田 洋一（学術総会会長）

1) 看護教育にかかわる女性から見た安全な分娩のあるべき姿

前原 澄子（日本母性衛生学会理事長）

2) 妊娠・分娩のリスク評価と分娩取扱体制のあるべき姿

中林 正彦（愛育病院病院長）

3) ハイリスク妊婦を治療する立場からの分娩取扱方針の基本にかかわる留意事項

光田 信明（大阪府立母子保健総合医療センター部長）

4) 新生児科医の立場からこれからの分娩を考える

木原 美奈子（京都第一日赤十字病院新生児科副部長）

5) 総合討論 と望ましい分娩の在り方の提言

山内ホール

教育講演

安全を創る、しつめる

3月19日(木) 9:15~10:15

江原 一雅（神戸大学医学部附属病院准教授、医療安全管理室、統括リスクマネージャー）

座長：任 和子（京都大学医学部附属病院 看護部部長）

基調報告

みえない垣根～安全の連繋～

3月19日(木) 10:40～11:40

長尾 能雅(京都大学医学部附属病院講師、医療安全管理室室長)

座長: 藤田 眞幸(慶應義塾大学医学部法医学教室教授)

パネルディスカッション5

次の安心に向かおう

3月19日(木) 14:00～16:00

座長: 内野 直樹(社会保険相模野病院 病院長、全国社会保険協会連合会安全対策委員会委員)

1) 「医療安全の中で向き合う姿勢、寄り添う心」

志摩 久美子(大阪警察病院医療安全管理センター 副センター長)

2) 信頼関係を維持するためにできること—医療センターの取り組み—

富永 理子(国立病院機構呉医療センター医療安全管理室専任リスクマネジャー)

3) 安心ながん化学療法へ向けた取り組み

栗原 博之(N T T東日本関東病院 医療安全管理室 専任医療安全管理担当者)

4) 隠さない、逃げない、ごまかさない～小さな病院の実験～

内野 直樹(社会保険相模野病院病院長、全国社会保険協会連合会安全対策委員会委員)

5) 真実と心に寄り添って—Smile Score—

林 里都子(財団法人新田塚医療福祉センター福井総合病院 医療安全対策部部長)

特別講演3

やって来る新型インフルエンザに備えて

3月20日(金) 9:00～10:10

岩田 健太郎(神戸大学医学部附属病院感染症内科教授)

座長: 長尾 能雅(京都大学医学部附属病院講師、医療安全管理室室長)

Small Group Discussion (スモールグループディスカッション)

「知る、聴く、向き合う」を求めて

3月20日(金) 10:30～12:10

総合司会: 甲斐 由紀子(宮崎大学医学部附属病院医療安全管理部副部長、選任リスクマネジャー)

増田 聖子(増田法律事務所 弁護士)

コメンテーター:

江原 一雅(神戸大学医学部附属病院准教授、医療安全管理室、統括リスクマネジャー)

一般演題 1

3月20日（金）9：00～12：00

9：00～9：25

別研 1－1 当院における人工授精時の患者取り違え防止リスクマネジメント
古橋 孝祐、後藤 栄、苔口 昭次、塩谷 雅英
英ウィメンズクリニック

別研 1－2 体外受精における配偶子および胚の確認体制について
水野 里志¹⁾、中岡 義晴¹⁾、福田 愛作¹⁾、森本 義晴²⁾
IVF 大阪クリニック¹⁾、IVF なんばクリニック²⁾

別研 1－3 患者間違い発生要因調査
會田 秀子¹⁾、三浦 康平²⁾、小林 弘幸³⁾
順天堂大学大学院医学研究科病院管理学¹⁾
順天堂大学医学部附属順天堂医院 放射線科²⁾
順天堂大学大学院医学研究科病院管理学教授³⁾

9：30～10：10

別研 1－4 与薬方法の変更によるインシデント「ゼロ」への取り組み
東浦 善行、大内 正千恵
特定医療法人社団御上会野洲病院 看護部リスクマネージャー部会

別研 1－5 薬剤師の病棟服薬指導介入によるインシデントの減少
井藤 涼子、岸 喜美子、林 秀樹
林病院 安全対策委員会

別研 1－6 リスク回避の為に薬剤師が行う持参薬への取り組み
服部 真弥、勝木 真由美、瀧 裕子、廣瀬 道隆、橋本 祐昌
市立長浜病院

別研 1－7 放射線部におけるリスクマネジメントー当院における現況と grass roots approach
高橋 雅士、今井 方丈、高田 恵、村田 喜代史
滋賀医科大学医学部附属病院放射線部

別研 1－8 造影検査におけるダブルチェック法の定着を目指して
齊藤久仁子、古関いつみ、松島由佳
武蔵野赤十字病院 放射線科

10：10～10：45

別研 1－9 患者急変時の ABCD をどの様に教育するか
一院内心停止を防ぐためのシミュレーションによる学習コースー
櫻井 淳、丹正 勝久、木下 浩作、守谷 俊
日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野

別研 1－10 新生児蘇生法 consensus2005 の全看護職スタッフ習得へのとりくみ
林 嘉彦、辻 俊一郎、斎藤 真理、梅本 範子
市立長浜病院産婦人科

別研 1-1-1 生命維持管理装置安全使用の取り組み：人工呼吸器管理トレーニング
中川 富美子、古川 力丸^{*1}、丹正 勝久^{*2}
日本大学医学部附属板橋病院 臨床工学技士室^{*1}
日本大学医学部 救急医学系 救急集中治療医学分野^{*2}

別研 1-1-2 集中治療における人工呼吸器アラームについての検討
古川 力丸^{*1}、中川 富美子^{*2}、丹正 勝久^{*1}
日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野^{*1}
日本大学医学部附属板橋病院臨床工学技士室^{*2}

10:50-11:15

別研 1-1-3 医療における人権の意識について
星 真哉
1) 神奈川県篠原湘南クローバーホスピタル内科
2) 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター非常勤講師
3) 田園調布中央病院内科非常勤

別研 1-1-4 三重県自殺予防対策推進協議会における3年間の活動
井上 颯¹⁾、谷井 久志²⁾、崎山 忍³⁾、小野 雄一郎⁴⁾
藤田保健衛生大学医学部公衆衛生学，三重県自殺予防対策推進協議会¹⁾
三重大学大学院医学系研究科精神病態学，三重県自殺予防対策推進協議会²⁾
三重県こころの健康センター，三重県自殺予防対策推進協議会³⁾
藤田保健衛生大学医学部公衆衛生学⁴⁾

別研 1-1-5 産科領域における医療訴訟の現状
吉本 譲爾
医療法人雪ノ聖母会 聖マリア病院 メディエーター担当

10:50-11:15

別研 1-1-6 大学病院入院患者における転倒・転落に関する要因の解明
～ 転倒・転落者の横断調査 第一報 ～
橋本 重厚、川島 隆子、平野 典子
福島県立医科大学付属病院医療安全管理部

別研 1-1-7 大学病院入院患者における転倒・転落に関する要因の解明
～ 症例対照研究 第二報 ～
橋本重厚¹⁾、早川岳人²⁾、神田秀幸²⁾
福島県立医科大学付属病院医療安全管理部¹⁾
福島県立医科大学衛生学・予防医学講座²⁾

別研 1-1-8 施設課リスクマネージャーから発信する、チーム連携による安全な治療環境整備
田丸 寿一、大畑 雄咲、(谷口 充伸)、志摩 久美子
大阪警察病院

別研 1-19 東京医科歯科大学歯学部附属病院における医療安全管理対策の概要
— 歯科医療に特徴的なインシデント事例を中心に—
宮本 智行、三輪 全三、海野 雅浩
東京医科歯科大学歯学部附属病院

別研 1-20 医療事故・有害事象・インシデントの院内検証におけるエラー分析手法の比較検討
江原 一雅、岡本 規子、花岡 澄代、高橋 京子、前田 潔
神戸大学 医学部附属病院 医療安全管理室

一般演題 2

3月20日（金） 9：30～10：30

9：30～10：00

別研 2-1 当院における体外受精患者さんへの多胎防止に対する取り組み
熊迫 陽子¹⁾、大津 英子¹⁾、宇津宮 隆史¹⁾、阿部 宏之²⁾
セント・ルカ産婦人科¹⁾ 山形大学・大学院理工学研究科²⁾

別研 2-2 当院の院内感染対策の実情と問題点
伊神 有美
神野レディースクリニック

別研 2-3 不妊治療施設における看護部のインシデントレポート
後藤 裕子 指山 実千代 上野 桂子 宇津宮 隆史
セント・ルカ産婦人科

10：05～10：30

別研 2-4 より安全な輸血提供を目指したシステム構築への取り組み
吉田 潤子、山崎あい子、垣内 雅明
大阪警察病院

別研 2-5 人工膝関節置換術においてエビデンスに基づいたクリニカルパスを作成するために
中井 毅、藤本 圭一、志摩 久美子
大阪警察病院

別研 2-6 血管内留置針の誤使用回避のための取り組み
廣井 直樹、片山 茂子、渡邊 聖
東邦大学医療センター大森病院

一般演題 3

3月20日（金） 9：00～10：30

座長：野村哲哉（医療法人真心会南草津野村病院 理事長）、大槻知子（野洲病院 看護部長）

*** 稲森ホール：パネルディスカッション「産科診療の現場におけるリスク回避の工夫」
での発表。**

稲 20-1 当院における「妊娠リスクスコア」の検討

四方寛子、喜多伸幸、村上節¹⁾、高橋健太郎²⁾

滋賀医科大学 産科学婦人科学講座¹⁾、滋賀医科大学 地域医療システム学講座²⁾

稲20-2 産婦人科病棟におけるより安全な療養環境～面会者管理と連れ去り防止対策～
岸 美代子、宮尾 律子、志摩 久美子
大阪警察病院

稲20-3 分娩後初回歩行時の転倒予防に関する検討
○西畑 康代、藤田 久子
奈良社会保険病院産婦人科病棟

稲20-4 これからの産科医療安全策とは？
～過去30年の医療過誤分娩事例の医学的状況と争点の変遷から考察する再発防止策
上杉奈々¹⁾²⁾、山中美智子³⁾、平原史樹¹⁾
1)横浜市立大学大学院医学研究科生殖生育病態医学
2)日本学術振興会特別研究員(DC)
3)大阪府立大学看護学部・看護学研究科

稲20-5 当院における院内助産システムの安全性に関する検討
宮川 友美、山出 一郎、畑山 博
医療法人今井会足立病院 足立病院

ポスターセッション

3月20日(金) 11:30~12:00

座長：交渉中

P-1 苦情・クレームからモンスターペイシエントの対応まで
ークレーム対応時の基本姿勢とその対策ー
中村 隆
市立伊丹病院 医療安全管理室

P-2 ヒューマンファクターズの視点から
事故等を分析する手法を用いた安全管理に関する看護学研究の現状
相楽 有美
群馬県立県民健康科学大学看護学部

◆ランチョンセミナー

ランチョンセミナー1

モニターのアラームと安全管理

3月19日(木) 12:20~13:30

谷島 正巳(神戸大学医学部附属病院感染症内科教授)

座長: 谷口 孝二(彦根市立病院 医療安全推進室 専任リスクマネージャー)

ランチョンセミナー2

ひとにやさしい医療の創造と普及を目指して

3月20日(金) 12:30~13:30

深水 淳一(テルモメディカルプラネックス 副センター長)

座長: 林 里都子(財団法人新田塚医療福祉センター福井総合病院 医療安全対策部部長)

安全医学 第5巻特集号

Vol. 5 (Sepcial edition)

第7回日本予防医学リスクマネジメント学会学術総会抄録集

発行日： 2009年2月16日

発行人： 酒井亮二

発行所： 日本予防医学リスクマネジメント学会

〒113-0033 東京都文京区本郷4-7-12-102

TEL/FAX 03-3817-6770

電子メール jsrmpm-office@umin.net

ホームページ <http://www.jsrmpm.org/>

印刷所： 第一資料印刷株式会社

〒162-0818 東京都新宿区築地町8-7